

人間ドック 検査内容のご案内



お申込みについて

- ※ オプションのお申し込み期限は **予約日の1診療日前 15:00 まで** となります。
- ※ 検査予約の人数制限がある検査、事前問診が必要な検査もございますので、お申し込みはお早めをお願いします。
- ※ 利用される補助の契約によって、基本項目として既に追加されている検査項目もあります。

基本検査項目		費用 (税込)	
一般計測	身長・体重・体脂肪率・腹囲・体格指数 (BMI)・血圧・視力・聴力	37,400円	
生理機能検査	心電図・心拍数・眼圧・眼底・聴力・肺機能		
胸部検査	胸部レントゲン		
胃部検査	胃バリウム (胃X線)・内視鏡		
エコー検査	上腹部 肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓・腹部大動脈・その他 下腹部 膀胱・前立腺・子宮 甲状腺		
血液検査	一般 赤血球・白血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット・血小板 膵機能 アミラーゼ 脂質 総コレステロール・LDL・HDL・nonHDL・中性脂肪 肝機能 AST・ALT・γGTP・ALP・総タンパク・アルブミン・総ビリルビン・LD・A/G比・直接ビリルビン・間接ビリルビン・ChE 糖代謝 グルコース・HbA1c 腎機能 クレアチニン・尿素窒素・eGFR 尿酸 電解質 Na・K・Cl・Ca・P その他 CRP・HCV抗体・HBs抗原・梅毒・血沈		
尿検査	蛋白・糖・潜血・ウロビリノーゲン他		
便潜血検査			
診察・問診			
オプション検査項目 ※検査費用は自己負担となります			費用 (税込)
頭部	1.頭部MRI	11,000円	
	2.頭部MRI+頭部MRA	22,000円	
	3.VSRAD (脳の萎縮度検査)	5,500円	
	4.頸部動脈エコー	2,750円	
心臓	5.心臓CT (県内実施当院のみ)	39,600円	
肺	6.胸部CT	8,800円	
	7.喀痰	2,750円	
動脈硬化	8.CAVI/ABI (血圧脈波検査)	2,750円	
骨	9.骨密度	3,300円	
血液	腫瘍マーカー	10.消化器系：CEA・CA19-9 3,740円	
		11.肝臓系：AFP・DCP 3,740円	
	12.甲状腺ホルモン	FT3・FT4・TSH 6,600円	
	13.ピロリ抗体検査	1,870円	
	14.アレルギー検査 36項目	16,500円	
男性向け	15.前立腺腫瘍マーカー：PSA	1,870円	
女性向け	乳がん検診	16.乳腺エコー	3,300円
		17.マンモグラフィ2方向	4,400円
		18.マンモグラフィ1方向	3,300円
		19.3Dマンモグラフィ	8,800円
		20.乳腺視触診	1,100円
	婦人科検診	21.子宮がん検査 (内診・経膈エコー・頸部細胞診)	4,400円
		22.上記検査+HPV検査	11,000円
23.卵巣腫瘍マーカー：CA125		1,870円	

- 以下の方は 検査をお受けできません -

胃バリウム（胃X線）

- 80歳以上の方
- 過去にバリウム検査でアレルギー症状があった方
- 3日以上排便がない方
- すばやく体を動かすことができない方
- 飲食時にむせる方
- 健診当日の最高血圧が180以上、または最低血圧が110以上の方
- 腹部の手術既往がある方

マンモグラフィ

- ペースメーカー、V-Pシャント中の方
- 乳房形成術後、豊胸手術後の方
- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方
- 授乳中の方：授乳中の方は乳腺が発達しているため、正確な判断ができません。断乳後6カ月から3年後の検査をお勧めします。

MRI・MRA・VSRAD

- ペースメーカー、人工内耳が入っている方
- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方
- 閉所恐怖症などの狭いところが苦手な方
- 長時間同じ姿勢が取れない方
- 体内に脳動脈瘤クリップなどの金属が埋め込まれている方

MRI・MRA・VSRADの検査中、外す必要があります

- 一時染毛料（髪パウダー・髪ボリュウムUPスプレー等）を使用している方
- インスリンポンプ、リブレを使用している方
- 義歯・歯内補填物を使用している方
- ヒートテック・化粧・刺青の方：成分によってやけどの恐れがあります

心臓CT

- 造影剤でのアレルギーがある方
- 糖尿病の内服をしている方
- 気管支喘息の既往がある方、通院中の方
- 甲状腺疾患の既往がある方、通院中の方
- 心臓疾患がある方、ペースメーカーの方
- 自覚症状がある方
- インスリンポンプ、リブレを使用しており当日外せない方

子宮がん検査（内診・経膈エコー・頸部細胞診）

- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方

オプション検査の詳細

1. 頭部MRI

脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、脳萎縮などの脳疾患の状態を調べる検査です。電磁場を用い、脳を立体的に撮影します。

2. 頭部MRI+頭部MRA

脳血管の状態を調べる検査です。MRIに加え、くも膜下出血の原因となる動脈瘤や動静脈奇形なども調べることができます。

3. VSRAD（早期アルツハイマー型認知症支援診断ソフト）

MRIの画像を用いて、アルツハイマー型認知症の特徴が見られる「海馬傍回」の萎縮の程度を調べる検査です。

- ※ MRI・MRI+MRA実施者のみの追加オプションです。
- ※ 対象年齢は50歳以上となります。
- ※ この検査のみでアルツハイマー型認知症と判断することはできません。

4. 頸部動脈エコー

動脈硬化、プラーク、脳血管障害の原因となるアテローム硬化をエコーで調べる検査です。



5. 心臓CT

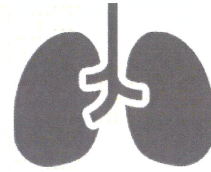
県内実施は当院のみです。

狭心症や心筋梗塞の原因となる冠動脈の狭窄をCTで調べる検査です。技術の進歩により、以前はカテーテル検査でしか調べることができなかった冠動脈の狭窄を精度の高い画像で評価することができるようになりました。頸動脈エコー、CAVI検査を同時に行なうのもおすすめです。



6. 胸部CT

肺気腫や炎症、腫瘍を調べる検査です。X線で360度照射し、肺を輪切撮影をします。



7. 喀痰

3日蓄痰法です。肺がんを調べる検査です。

喀痰を採取し細胞を集めて、細胞診検査をします。X線では写りにくい、肺門部（肺の入口）がんの早期発見に効果が高く、痰が多い方、タバコを吸う方にお勧めします。

8. CAVI/ABI（血圧脈波検査）

動脈の硬さや狭さ、血管年齢を調べる検査です。仰向けの状態で両腕・両足にカフを付け、血圧と脈波を測定します。高血圧・脂質異常・喫煙者にお勧めします。

9. 骨密度

骨粗鬆症、骨密度を調べる検査です。骨塩定量検査（DEXA法）という2種類の異なるX線を腰と大腿骨頸部に当て測定します。最も精度の高い検査方法とされています。年齢に対する骨密度も算出できます。

10. 腫瘍マーカー（消化器系：CEA・CA19-9）

消化器系がん疾患、肝硬変、胃潰瘍、慢性膵炎、胆石などで数値が高くなります。肺がん、子宮がん、乳がんでも数値が高くなる場合があります。喫煙や年齢によって数値が高くなる傾向があります。

※ この検査だけでがんの診断はできません。



11. 腫瘍マーカー（肝臓系：AFP・DCP）

肝がん・肝硬変・肝炎などで数値が高くなります。糖尿病、胃がんなどでも数値が高くなることもあります。

- ※ 早期発見に有効な検査ですが、ワーファリンを内服されている方は状態に関わらず高数値となるため、検査ができません。
- ※ この検査だけでがんの診断はできません。

12. 甲状腺ホルモン（FT3・FT4・TSH）

甲状腺で作られる甲状腺ホルモンの量を調べる検査です。ホルモンの過剰分泌によってFT3・FT4の数値が高く、TSHの数値が低ければ甲状腺機能亢進症（バセドウ病）、逆に分泌が少なければ甲状腺機能低下症（橋本病、粘液水腫など）といった症状が考えられます。男性の2%、女性では15%の割合で甲状腺機能障害があると言われています。

※ この検査だけでがんの診断はできません。

13. ピロリ抗体検査

ヘリコバクター・ピロリ菌感染を調べる検査です。日本人の胃がんや胃潰瘍、十二指腸潰瘍の大きな原因の一つとなっています。今までに一度もピロリ菌検査を受けたことがない方にお勧めです。

14. アレルギー検査（36項目）

一度の採血で36項目（48種類）のアレルゲン特異的 I g E（アレルギーの原因物質に対して働く抗体）を測定し、アレルギーを引き起こす物質（アレルゲン）がないか検査します。

男性向け

15. 腫瘍マーカー（前立腺：PSA）

前立腺がん、前立腺肥大症などで数値が高くなります。
早期発見に推奨されている検査です。
50歳以上の方にお勧めします。
※ この検査だけでがんの診断はできません。



女性向け

◆乳がん検診

16. 乳腺エコー

超音波を用いて乳がんを調べます。
乳腺組織が密な若い女性やレントゲン検査が行えない方に有効な検査です。



17. 18. マンモグラフィ2方向/1方向

プレートで乳房を挟み、X線にて乳房撮影をします。
2方向の方が高精度です。
しこりになる前の石灰化も発見できるため乳がんの早期発見が期待できます。

19. 3Dマンモグラフィ

撮影角度を変えながら複数回撮影を行います。
従来のマンモグラフィでは乳腺と重なって隠れていた病変が発見しやすくなり、より精度の高い画像診断ができます。
乳腺が発達している方や若い女性にお勧めの検査となります。

20. 乳腺視触診

しこり等がないか医師が調べます。

◆婦人科検診

21. 子宮がん検査（内診・経膣エコー・頸部細胞診）

子宮筋腫・内膜症・卵巣腫瘍等を調べます。
子宮頸部の細胞を採取し、細胞診検査をします。
細胞の採取は数分で終わりますが、粘膜を採取するため少量の出血を伴うことがあります。

22. 上記検査+HPV検査

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）に細胞が感染しているかを調べる検査です。HPV感染のほとんどは一過性で自然に消失しますが、約10%は持続感染し、子宮頸がんの危険性が高まります。
検査方法は、子宮頸部の細胞を採取し、そのぬぐい液を用いてPCR検査をします。
HPV感染の性質上、30歳以上の方にお勧めします。

23. 腫瘍マーカー（卵巣：CA125）

卵巣がん、子宮がん、胆道がん膵臓がん、子宮内膜で数値が高くなります。
治療効果や再発予測としても用いられる検査です。
※ この検査だけでがんの診断はできません。

公益社団法人 山梨勤労者医療協会

甲府共立病院
総合健診センター



TEL. 055-226-3131（代表）
TEL. 055-226-5201（直通）
FAX. 055-226-5202